

有限責任中間法人日本漢方交流会ニュース

金

匱

No.30

編集
発行

日本漢方交流会広報委員会

日本漢方交流会事務局 香川県仲多度郡琴平町225 TEL 0877-58-8581 FAX 0877-58-8583

日本漢方交流会ホームページ <http://www.kanpou.com/>

日本漢方交流会 学術部主催

“慢性、難病フォーラム 第3回”のお誘い

拝啓 陽春の候、会員の先生方に於かれましては御健勝で御活躍のことと存じます。

かねてより、御案内させていただいておりますフォーラムのプログラム概略が出来上がりましたので、再度参加申し込み方法と共に掲載させていただきます。



(第1回難病慢性病フォーラムの会場風景・左壇上は故・久保道德先生、2003年6月29日↑)

日 時	平成 17 年 5 月 29 日(日)
時 間	10 時 30 分～ 16 時 30 分
場 所	大阪チサンホテル 大阪市淀川区西中島 6-2-19 (TEL06-6302-5571)
テ ー マ	「高齢化社会における五臓六腑の本治療」
参 加 費	3,000 円 (会員) 4,000 円 (会員外) 2,000 円 (学生)
昼 食 代	1,500 円 (希望者)
懇親会費	3,000 円 (希望者)

※フォーラム終了後、同ホテル内で気分を変え、漢方談義に花を咲かせましょう。

新幹線新大阪駅南口より
徒歩で約 10 分です→

申し込み方法

各会員にお送りしました郵便振替用紙にてお振込み下さい。振込みを持って参加とさせていただきます。尚、会員外の方で御参加頂けます方は、下記の郵便口座にて、会費、昼食、懇親会の有無を記載頂き、合計金額をお振込み下さい。

郵便振替

口座番号 00950-7-296672
口座名義 慢性、難病フォーラム

申込締切 平成 17 年 5 月 23 日

問合わせ FAX 075-314-7417
西京極薬局 須藤朝代



プログラム (予定)

10:00	受付開始
10:30 ~ 11:10	基調講演: 聖光園細野診療所 中田敬吾先生
11:00 ~ 11:50	基調講演: 前立腺肥大症を例にした加齢による病の臓腑弁証に付いて 東海漢方協議会 林 誠一先生
11:50 ~ 12:30	基調講演: 三焦経と漢方治療法 日本漢方交流会理事長 真鍋立夫先生
12:30 ~ 13:30	昼食
13:30 ~ 14:00	話題提供: 帯状疱疹後神経痛一症例 近畿鍼灸漢方研究会 村木重伸先生
14:00 ~ 14:30	話題提供: 心的外傷の身体化の治療について 東京漢方教育研究センター 越 智 秀一 先生
14:30 ~ 15:00	話題提供: 漢方による追跡 脂肪肝、胆嚢ポリープの消失、蓄膿症の改善 京都漢方研究会 上田玖季先生
15:00 ~ 15:15	休息
15:15 ~ 15:45	話題提供: 老人病予防としての少食と薬草による自己実験 東海漢方協議会 奥村裕一先生
15:45 ~ 16:15	話題提供: 脱肛と脱腸の治療例 徳島和漢薬研究会 須見泰子先生
16:30 ~ 18:30	懇親会

医師、薬剤師、鍼灸師と立場の違う 3 師の先生方に、御講演をお願い致しました。それぞれのお立場での、豊かな御経験を御教授願います。又、アドバイザーとして、中井康雄先生、西脇平士先生、広中隆志先生をお招きしております。会場内にも、交流会と共に歩んでいらした歴史のある先生方の御出席をお願い致しております。漢方薬医学を学ばれるにあたり、まずは傷寒、金匱での学問を身に付けられる事と存じます。その後、医療者として成長するには、患者様を師とし、実践あるのみです。臨床例が多ければ多いほど、様々に学ぶチャンスです。御高名な先生方の治療体験を、活字で読まれることも 1 つの“方技”を高める手段ではありますが、講演をお聞きになり、質疑応答することにより、深く漢方医学が身に付く事と存じます。是非、この第 3 回慢性、難病フォーラムに御参加下さり、加療効果の上がない患者の方々への救い主になれますように、研鑽を積んで参りましょう。

多くの会員の先生方の御参加をお待ち申し上げますと共に、未加入の先生方にも是非御参加下さい。

漢方医薬学の権威 久保道徳先生を偲び

日本漢方交流会相談役 近畿鍼灸漢方研究会代表 西脇平士



漢方医薬学界の巨星、久保道徳先生は漢方資源生薬研究の途上、平成十六年十二月二十三日に急逝されました。偉大なる抱負、前人未踏独自の近代漢方への挑戦、二十一世紀を生きる漢方医薬学者としての黄泉への旅立ちでもあります。

此の度は近畿大学薬学部・東洋医学研究所・同窓会等の発起により薬学部長掛樋一晃先生や側近の松田秀秋先生始め多くの方々のご努力により、平成十七年二月二十七日に大阪のリガロイヤルホテル・ロイヤルホールで“久保道徳先生の思い出を語る会”が開催されました。

参加者は政財界や東西の漢方界や生薬学界の著名な先生方をはじめ漢方生薬のメーカー問屋さんマスコミの方々など、五百二十名に上る盛会となりました。

約三時間に及ぶ会となり、その後の食事会に於いても此の席で旧交を温め合う方々のお姿が多く視られ、久保道徳先生の遺徳がヒシヒシと感じられるひと時でもありました。

久保道徳先生は、基礎漢方薬学と共に薬用資源学及び臨床生薬学を構築する第一人者として走り続けられました。又、久保道徳先生は信義の厚い礼節の人でもありました。

現在著名人として活躍されている数多のお弟子を育て上げられた業績も世人の知るところでもあります。

顧みますれば日本漢方交流会の顧問として又、全国大会に於いても多大のお力添えを戴き特別講演も戴きました事など思い出は尽きません。

惜しみても余りある先生の業績は、古代東洋医学と新世紀の遺伝子DNA近代免疫学、バイオテクノロジー医学等を漢方に反映せんと数々の著書と学術発表、近畿大学の教授として、又近畿大学医学部東洋医学研究所所長、

及び海外中国の薬科医科大学の客員教授として国内での貴重な講演、学術誌及びマスコミ誌上での高い評価も多々あり、視野の広大なることは今日の医薬学者として崇敬の的でもありました。

又機能性食品の研究開発でも大学の農学部や生物理工学部との共同での柑橘類の薬用プロジェクトは良く世情を反映された企画として期待されました。又現実にはベンチャー企業の会社まで設立されたと聞いております。

アレルギーやアトピー、瘀血の研究に於いても極めて早期より先端医学を採り入れ、温故知新の道を歩む記述は、私共現職の漢方家には非常に有り難い資料とも為りました。

今後二十有余年は未だ現役の漢方医薬学のリーダーとして、医薬業界の羨望と期待の人でもありました。しかし其の重責に体の不具合を意図せず、前進された事が偉業途上にして天上に逝かれたのでは、と深い慙愧の思いで御座います。

顧みますれば先生との最初の出会いは、大阪天王寺区六万体に有りました漢方医学の恩師故山元章平先生（前近畿大学薬学部漢方講師）の薬局“南天堂”主宰の前近畿漢方研究会でした。

当時久保道徳先生は大阪大学の薬学研究室におられました。今から四十有余年前の此の出会いが今日まで陰に陽に数々の交流を得るキッカケとなりました。私が昭和四十三年近畿鍼灸漢方研究会を発会の後、研究会の講師として参加して戴きました。

その後、お弟子さんの数々の先生を講師としてご紹介戴きました。

近畿鍼灸漢方研究会第十五回記念大会には東都へ出張の身でありながら急遽大阪の大会会場にはせ参じられ特

別講演を戴いた事は大きな思い出でもあります。

本当に有難う御座いました。懐旧の厚い想いで一杯で御座います。

近畿大学の薬学部長となられても其の姿勢に変化はなく、大学の薬用資源研究室での生薬の画期的研究と発表は斯界の数々の賞賛を得られたことは、将に知る人ぞ知る偉人でもあります。

その後近畿大学東洋医学研究所所長として更なる大課題を笑顔で実現に努力され、大丈夫なんですか、とお身体を案じて差し上げても、一言のもと大丈夫、大丈夫の言葉有るのみでした。

将に恐るべきエネルギーで駆け抜けられた漢方資源生薬界での泰斗の壮烈な戦場死を遂げられた事。只ひたすら心からご冥福を祈念申し上げますのみであります。

合 掌



平成 16 年 5 月 30 日、チサンホテルでの久保道德先生 ↑

第 38 回日本漢方交流会学術総会・広島大会のご案内

日本漢方交流会会員の皆様、こんにちは！広島では平成 17 年の今年、下記のように第 38 回学術総会を計画いたしております。テーマは心と身体をつなぐを漢方で解明し、どのように対応するかということに重点を置いております。精神面でのケアをどうするか？医療面では大きな課題だと思しますので大会当日の学術総会を楽しみにしております。初日、朝の市民公開講座では広島大学医学部の神田博史助教授に薬用植物園で栽培される薬草の解説、ならびに実際に研究栽培される薬用植物を見せてもらいます。その後、会場を広島大学から薬事衛生会館に移します。

午後からは『これからの薬系漢方』と題して招待講演をしていただき、シンポジウムでは数人の先生方に心と身体について討議していただく予定です。20 日には福山大学薬学部の岡村信幸教授に教育講演していただく予定になっております。山崎正寿先生の会頭講演や各漢方研究会の先生方の会員発表にもたいへん期待しております。詳細な準備はこれからですが稔りある広島大会にするために準備委員一同がんばっておりますので是非、御参加くださるよう皆様をお願い申し上げます。追って皆様にはご案内を送付させていただきます。

開 催 期 日：平成 17 年 11 月 19 日・20 日 土曜日・日曜日

開 催 会 場：19 日午前中 = 広島大学医学部・広仁会館及び薬用植物園

19 日午後～20 日＝広島県薬事衛生会館 広島市中区富士見町 11 番 42 号

大 会 テ ー マ：心と身体（からだ）と漢方

大会スローガン：博采衆方＝はくさいしゅうほう・治療に役立つものを全て取り入れる

会 頭：山崎 正寿

実 行 委 員 長：吉本 悟

事務局住所： 連絡先：〒 735-0029 広島県安芸郡府中町茂陰 1-3-12

電話またはファックス→(082) 286-9557 e-mail → hirokanken@yahoo.co.jp

※事務局との連絡は出来るだけ e-mail を使用して下さい。

▶▶ 広報担当からのお知らせ

●日本漢方交流会ホームページに会員専用のページを作成しております。パスワードは **kalin** でお入りください。

とりあえず理事会の報告などをこのページでさせていただきます。

平成 17 年 4 月編集